

坂戸市立片柳小学校 学校だより

やなぎの子

学校教育目標

よく考え 心豊かに たくましく

令和7年度6月号（令和7年6月25日発行）

児童数：323名

Tel 283-4735 Fax 289-1015

【校訓】かしこい子 たくましい子 やりぬく子 なかよくする子 気持ちよく働く子

《夏休みの課題について》 ◎ よく考え ◎ 心豊かに

本年は、7月18日（金）が第一学期の修了式。

夏休みは、7月19日（土）から8月26日（火）までの39日間となります。

第二学期の始業式は、8月27日（水）。子供たちがクラスの友達や教職員にたくさんの夏休みの思い出について語っていることでしょう。

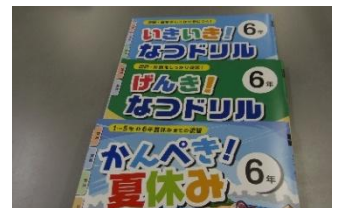
夏休み、子供たちは家庭や地域で過ごすもの。夏休みは、子供たちが学校ではできない体験をする絶好の機会。夏休みは、子供たちが心身ともに大きく成長できる時期。

普段忙しい保護者の方も子供たちとゆっくりと過ごせる時期だと思います。

ところが、保護者の方にとって休みが子供と夏休みの課題の取組で終わってしまつては、せっかくの休みが・・・。

ちなみに、我が家の娘たちが小学生だったころ、約9年間、次のような感じてした。

土日やお盆の私は、自分の娘たちが抱えている夏休みの課題の手伝いに明け暮れていました。「夏休みの友」、絵日記、絵画やポスター、読書感想文に作文、工作関係、書写を娘たちと取り組んでいました。今振り返ると、娘たちと過ごした貴重な時間だったと思います。しかし、当時の自分は、ここまで保護者が関わらなければならない夏休みの課題は、子供の教育・学習に関して意義を見出すことはできませんでした。



夏休みのような長い休みは、子供は家庭や地域での生活が基本となります。普段の学校を中心とした生活から離れた生活をします。学童等を利用している子供は、そこが生活の中心になるでしょう。ともあれ、長い夏休み、学校や普段の生活ではできない様々な体験を家庭や地域で積んでほしいと考えています。そのことが人間としての視野を広げ、考え方や生き方に深みを与え、充実した生き方につながると考えます。

そこで、本年度、本校の夏休みの課題は、特に課しません。

また、様々な団体や所課からの応募等について、子供と相談の上、取り組んでみてください。なお、受益者負担の原則から応募に際して、郵送料等が掛かるものについては、個人での応募をお願いします。学校からの課題一覧に載っているものについては、学校に提出してください。

小学校の夏休み、大人の立場から振り返ると、様々な情景を思い起こすことができるかと思います。家族や親せきとの思い出、友達との思い出、一人だけのちょっとした冒険、良いことも少し甘酸っぱいことも含めて、たくさんの思い出を作ってほしいと思います。

その一つ一つが人間としての深みや懐の広さに寄与するものと考えています。

《熱中症対策について》 ◎ よく考え ◎ たくましく

運動会前後までは、昨年のような夏日を思わせる日が少なかったですね。おかげで、運動会の練習では暑さを気にすることなく取り組むことができました。

さて、運動会が終わったら、6月上旬にも関わらず、夏が増えてまいりました。ニュースを見ると熱中症警戒アラートという言葉をよく見聞きます。そこで、学校現場では右の通り対応しています。

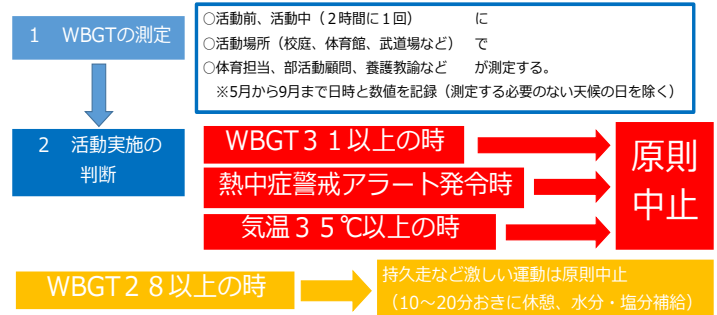
また、学校では、毎日、定時に WBGT の測定を実施しています。測定結果は、職員室前廊下に掲示し、教職員に周知しています。

熱中症対策は、学校だけで行うものではありません。各ご家庭でもできることがあります。

そこで、日本スポーツ協会では、スポーツ活動中の熱中症予防5ヶ条を出しているのです、紹介します。

熱中症事故防止の取組

令和6年4月坂戸市教育委員会



※児童生徒の健康観察を徹底し、体調によって速やかに運動を中止する。

※万一、児童生徒に意識障害があったり、水分摂取ができなかったりするなど、心配な場合は救急車を呼ぶ。

1 暑いとき、無理な運動は事故のもと

◎ 環境条件に応じて運動強度を調節し、適切な水分補給を心がけましょう。

2 急な暑さに要注意

◎ 暑さに慣れるまでの数日間は、軽い短時間の運動から徐々に運動強度や運動量を増やしましょう。

3 失われる水と塩分を取り戻そう

◎ 暑いときは、こまめに水分を補給したり、スポーツドリンクを利用したりして塩分も補給しましょう。

4 薄着スタイルでさわやかに

◎ 暑いときには軽装にし、素材も吸湿性や通気性の良いものにしましょう。

5 体調不良は事故のもと

◎ 披露、睡眠不足、発熱、風邪、下痢など、体調の悪いときには無理に運動をしない。

《田植え》 ◎ よく考え ◎ 心豊かに ◎ たくましく

6月9日(月)第4・5学年児童が本校の代表として、田植えをしました。

田植えまで、地区の方々を中心に市農業振興課、JA いるま野、本校 PTA 学習後ランティア等、多くの方々の協力の下、様々な準備をしていただきました。

また、児童も水路周辺の雑草取り、清掃等をやらせていただきました。

準備万端そろったところで、1時間目4年生、2時間目5年生の順に田植えです。苗の束を手に颯爽と水田の中に足を踏み入れた途端に大きな歓声。

赤い目印を打った縄を前に、苗を 2, 3 本つまんで、水田に苗を植えていきます。しかし、最初はいまいかないもの。苗が浮いてしまったり、10本以上の苗が植えられたり。しかし、「習うより慣れろ」。やっているうちにコツをつかみ、上手になっていきました。

この日に向けて、子供たちのために多くの方の努力とお力添えのおかげで、何とか無事に田植えを終えました。しかし、米づくりはまだ始まったばかり。苗の成長を日々見守り、水温に伴う水の管理、虫や雑草への対応等、たくさんの手間をかけて初めて、稲穂が実ります。そのことを少しでも子供たちが理解できるよう取り組んでまいります。

